

2021年度 まちとすまいの集い

テーマ：社会的潮流とこれからの “まち・すまい・建築”



2021年12月3日(金) 16:30-18:35 (オンライン開催：要申込み)

2050年に向けた脱炭素化、少子高齢化やアフターコロナなど、今後の社会変化に対して建築・都市はどのようにあり、どのように適応してゆくべきか。今年度(第23回)の「まちとすまいの集い」では、都市計画、構造計画、環境・設備計画から見た、これからの“まち・すまい・建築”についての着眼点を整理するとともに、名古屋の先端プロジェクトにおける取り組み事例から、今後の建築学に関する教育、研究、技術開発、地域貢献について議論します。

主催：名古屋大学建築学教室

【プログラム】

- 16:30-16:32 開会挨拶 飯塚 悟 (名古屋大学・建築学教室主任)
- 16:32-16:35 主旨説明 田中英紀 (名古屋大学)
- 16:35-16:55 講演1：宮脇 勝 (名古屋大学・都市計画系)「脱炭素社会におけるスマートシティの一般化」
- 16:55-17:15 講演2：田中英紀 (名古屋大学・環境設備系)「エネルギー供給の変革と建築・都市環境システムの役割」
- 17:15-17:35 講演3：日比野陽 (名古屋大学・構造計画系)「鉄筋コンクリート造建物の損傷低減と都市防災の将来」
- 17:35-18:10 事例1：今枝 薫 (東邦ガス)「スマートタウン／みなとアクルスの構想とマネジメント」
鶴海哲也 (三井不動産)・大石直志 (三井不動産レジデンシャル)
「スマートタウン／みなとアクルスの商業開発と住宅開発」
- 18:10-18:25 事例2：西山史記 (日建設計・2003年修士修了)
「名古屋駅周辺におけるエネルギーシステムの現状と未来」
- 18:25-18:35 総合討論



【申込方法】 <https://forms.office.com/r/gXjRuFJcch> もしくは右のQRコードでお申込下さい。11月30日 締切。
お問い合わせは、名古屋大学建築学教室 まちとすまいの集い事務局までご連絡下さい。E-mail:machi@nuac.nagoya-u.ac.jp